		20XX年○月までで、利用者○人を目指す。	○○（品目名）を整備する。そのうえで、当該電子計算機の計算能力を、20XX年○月までにクラウドサービスとして提供し、基盤クラウドプログラムの開発促進を図っていく。

（注１）複数の異なる種類の取組を一貫して実施する場合は、取組種類欄に複数の取組種類を記載することとして差し支えない。その際、記載内容がいずれの取組種類に該当するものか分かるように記載すること。

（注２）１つの取組により２以上の品目の安定供給確保を図る場合は、品目ごとに目標数値を記載すること。

（注３）具体的な計画内容の記載に当たっては、事業開始年度及び事業終了年度並びに取組により直接的に達成が見込まれる定量的な中間目標等を設定している場合はその内容も併せて記載すること。

（注４）当該取組を実施する上で、これまでの原材料等の調達方法を変更し、新たな調達に関する計画・取組を行う場合は、当該計画・取組を併せて記載すること。

（注５）当該計画を認定した場合は、当該表の記載内容について安定供給確保支援法人又は安定供給確保支援独立行政法人に通知する。

（４）目標数値設定の根拠（数値算出の計算式や考え方、それに用いた根拠となる数値やファクトを、当該物資の市場の見通し及び世界情勢等の背景を踏まえて記載）

（目標数値設定の根拠） 特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目①：

（注）２以上の品目の安定供給確保を図ろうとする場合には、上欄を追加してそれぞれの取組ごとに記載すること。

５　計画の実施内容

（１）　計画の実施概要

１～３行程度で簡潔に記載

（注）本申請書により複数の取組を申請する場合には、当該複数の取組をまとめた実施概要を記載すること。

（計画全体のスケジュール）

年度 ※事業開始年度	（例） ○月、○○工場への設備投資開始
年度	○月、○○工場への設備導入完了 ○月、導入設備での生産開始
年度	○月、○○工場における○○（品目名）の生産能力○％向上達成
年度 ※事業終了年度	○月、事業開始年度と比して、自社における○○（品目名）の生産量を○％増加達成

（２）支援措置の対象とする取組の実施時期

実施予定の取組番号：				
取組種類	着手 （注２）	設備設置、技術開発等に要する期間	供給開始	継続生産期間
（例）生産基盤の整備 （上記４．（３）で選択したもの）	年　月	年　月～　年　月 （少なくとも○ヶ月間）	年 月	年以上
	年　月	年　月～　年　月 （少なくとも○ヶ月間）	年 月	

（注１）複数の異なる取組種類の取組を一貫して実施する場合は、行を追加して取組種類ごとに記載すること。また、複数の取組を実施する場合及び２以上の品目の安定供給確保を図ろうとする場合は上表を追加して記載すること。

（注２）着手とは、取組を実施する上で必要な発注、購入、契約等を実施し、取組を開始することをいう。